

**ASIA STAR**

床暖房コントローラ  
ATH-SR1 (level)

---

**取扱説明書**

- この度は、床暖房コントローラ（ATH-SR1）をご購入頂き、誠に有難うございます。
- この取扱説明書は、床暖房コントローラ（ATH-SR1）の使用法・仕様の概要を説明したものです。
- ご使用頂く前に、必ずこの取扱説明書を御読み頂きまして、正しくご使用下さいますようお願いいたします。

<b>警告</b>	取扱を誤った場合に、使用者が死亡または重症を負う危険の状態が生じることが想定される場合、その危険を避けるための注意事項です。
<b>注意</b>	取扱を誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物理損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合の注意事項です。

<b>警 告</b>	
※	本器の取り付け・取り外しや結線のときは、電源を切った状態で行って下さい。感電の危険性があります。
※	本器は絶対に分解したり加工、改造、修理は行わないで下さい。異常動作、感電、火災の危険性があります。

<b>注 意</b>	
!	本器は床暖房コントローラです。過昇温防止装置として使うことはお止め下さい。
!	本器の電源は工事業者が用意したものを使用し、配線間違いや電源電圧の間違いは十分注意し、通電前に必ずご確認下さい。
!	本器は電源遮断器を備えていません。必要な場合は外部に取付けて下さい。
!	本器は仕様に定められた条件および環境（振動、温度、湿度など）の範囲で使用保管して下さい。
!	正しく温度制御を行うためにセンサーの取付け位置・場所は適切にして下さい。
!	本器は可燃性、腐食性、爆発性のガスまたは蒸気のある場所では使用できません。
!	万一使用中に床温度が異常に熱くなったときはブレーカを切って電源を遮断して工事業者または相談窓口にご連絡下さい。
!	本器の表面の汚れがひどいときは、水にぬらした柔らかい布を硬く絞って、軽く拭き取って下さい。洗剤及びシンナー・ベンジンなどではふかないで下さい。
!	長時間ご使用されない場合は、ブレーカを切って電源を遮断して下さい。

## お願い

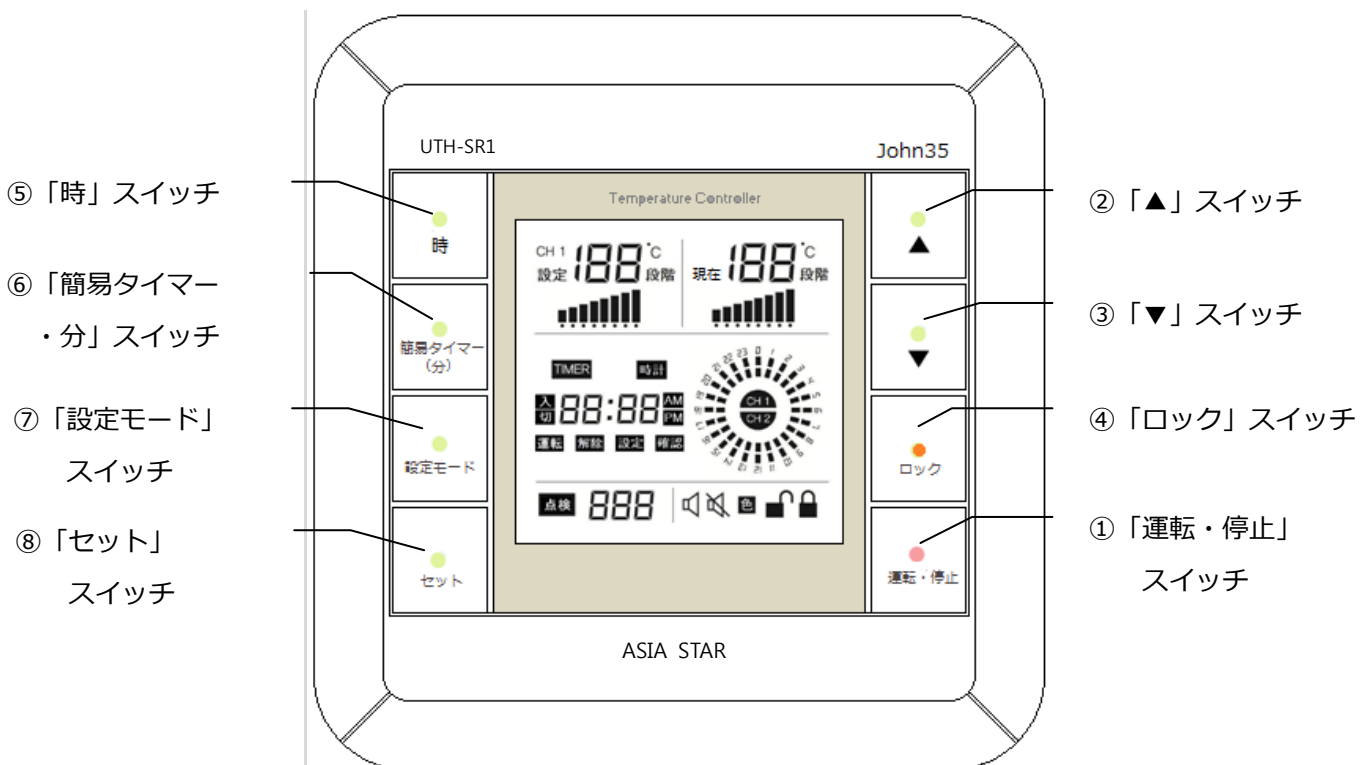
- この取扱説明書は、本製品をお使いになる方のお手元に確実に届くようお取り計らい下さい。
- この取扱説明書の全部、または一部を無断に複製、または転載することを禁じます。
- この取扱説明書の内容を将来予告無しに変更することがあります。
- この取扱説明書の内容については、万全を期しておりますが、万一ご不明な点や記入もれなどがありましたら、当社までお申し出下さい。
- お客様が運用された結果につきましては、責任を負いかねる場合がありますのでご了承下さい。

## 安全上の注意

この安全上の注意は、製品を正しくお使い頂き、あなたやほかの人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全上の注意は必ず守って下さい。

## 1. ATH-SR1の本体

### 各スイッチの機能



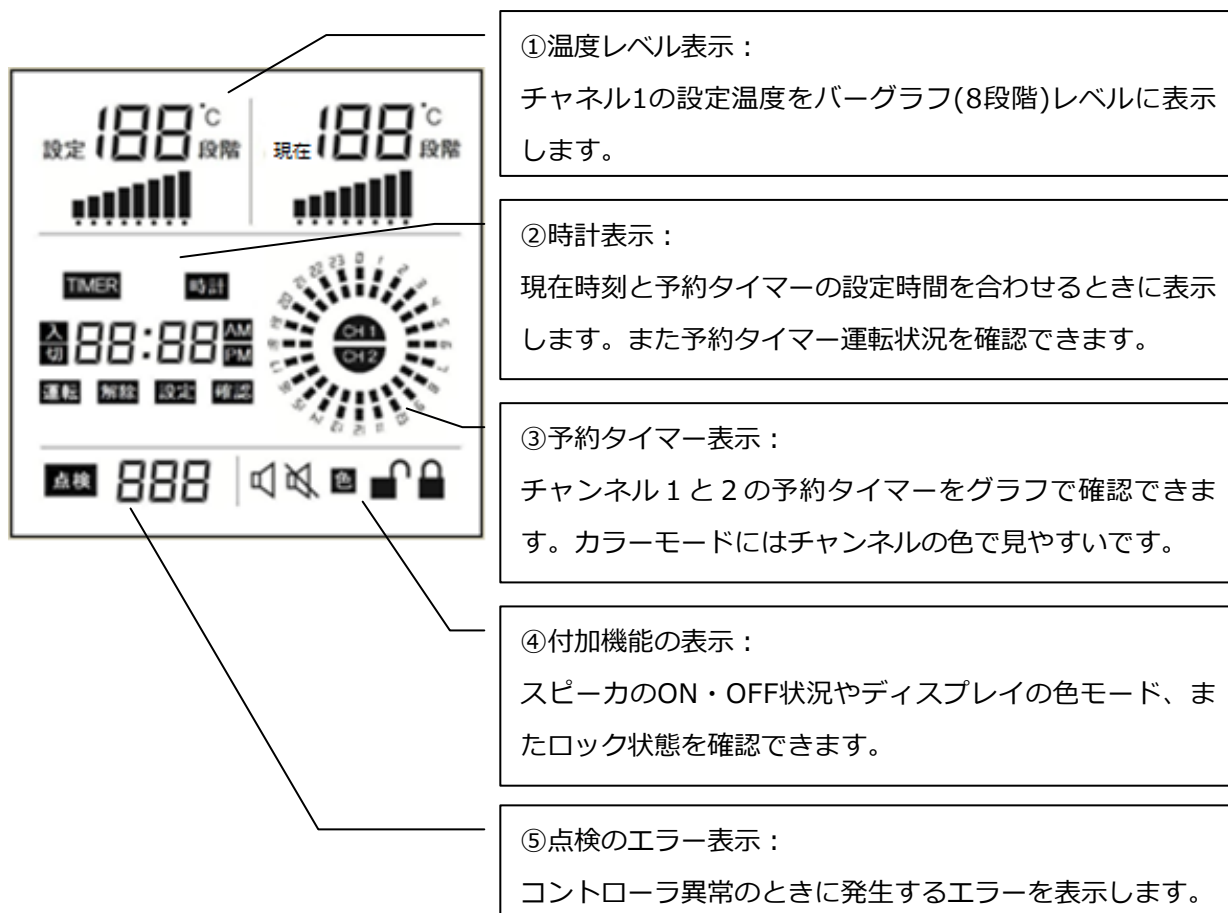
- ①「運転・停止」スイッチ：電源をON・OFFします。
- ②「▲」スイッチ：設定温度レベルを上げるときに使用します。
- ③「▼」スイッチ：設定温度レベルを下げるときに使用します。
- ④「ロック」スイッチ：スイッチをロックするときを使用します。(3秒長押し) 解除するときも同じように3秒長押しすると解除されます。
- ⑤「時」スイッチ：現在時刻や予約タイマーの時間を合わせる際には【時】を進みます。
- ⑥「簡易タイマー・分」スイッチ：通常には押すごとに30分単位にして8時間までOFFタイマーを設定できます。(電源OFFの10秒前にブザーが鳴って予告します。) 現在時刻や予約タイマーの時間を合わせる際には【分】を進みます。
- ⑦「設定モード」スイッチ：スイッチを押すごとに時計、予約タイマーの運転、解除、設定、確認順にモードが選択できます。
- ⑧「セット」スイッチ：設定モードからの設定内容を確定します。

## 2. 概要

- 本製品は、床温度ヒーターを温度（センサーモード）もしくは運転時間通電率（タイマーモード）にて制御を行う装置です。
- 床暖房の運転に必要な設定値は記憶されますので、一度設定すれば毎日の運転は「運転・停止」スイッチをタッチするだけです。
- 設定温度レベルの変更は、本製品表面のスイッチにより簡単に設定できます。  
通常の表示はヒーター温度レベルもしくは通電率の動作段階を表示し、本製品のスイッチ操作により各設定値を設定できます。

### 3. 各部の名称と機能

#### 表示画面の説明



### 4. ATH-SR1の運転

#### 1. 操作概要

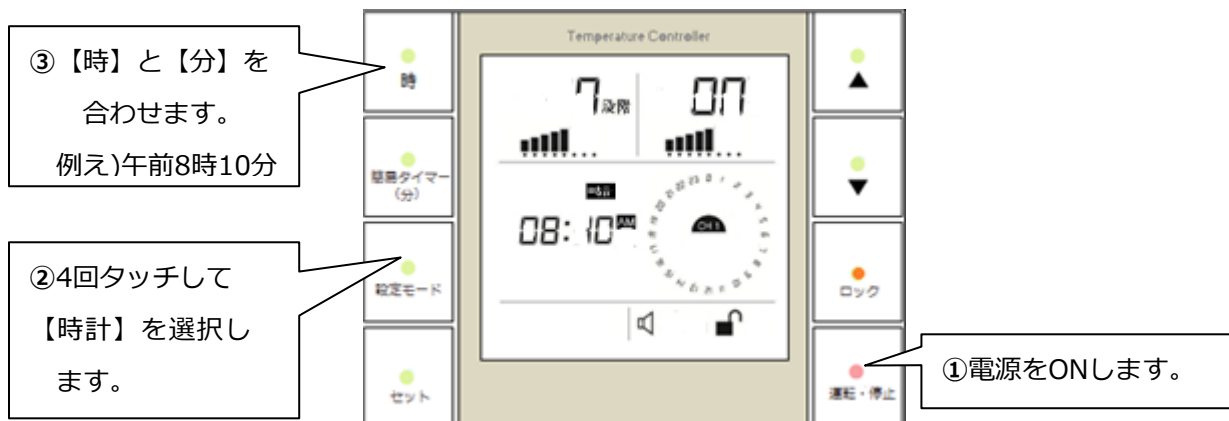
- ① 時計を合わせる。  
: 初めて使うときとか、長時間使用してなかったとき（長時間ブレーカを切ったとき）には時刻設定が必要です。
- ② 温度を設定する。  
: ヒーターの温度を設定します。設定温度をレベルに設定して表示します。

③ 運転の操作。

: 通常運転、予約タイマー運転（1日最大5回可能）、簡易タイマー（30分～8時間）により運転します。

## 2. 時計を合わせる。

初めて使うときとか、長時間使用してなかったとき（長時間ブレーカを切ったとき）には時計を合わせて下さい。



## 3. 温度レベルを設定する。

ヒーターの温度レベルを設定します。設定温度レベルは左側に表示して、出力の状況はONとOFFに表示します。

※設定温度レベルを確認するときは【▲】または【▼】スイッチをタッチすると表示されます。



#### 4. 予約タイマー運転

予約タイマー（入時刻と切時刻）を設定すると設定した時間帯しか運転できません。

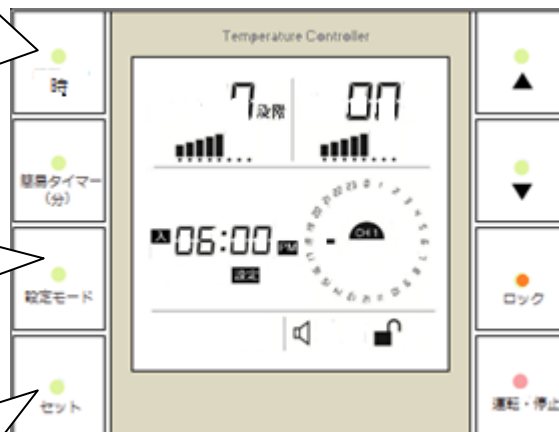
※参考：現在時刻が予約タイマー時間帯に入っているとすぐ予約タイマー運転になります。

##### <入時刻：午後6時の場合>

③入時刻を設定します。  
【時】と【分】スイッチを  
タッチして合わせます。  
(例え：午後6時)

①2回タッチして【設定】  
を選択します。

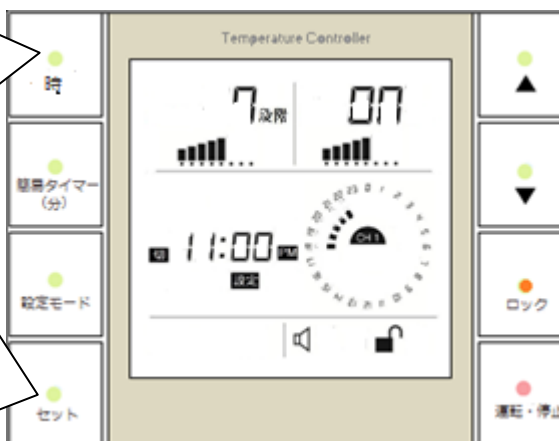
②タッチして確定します。  
④タッチして入時刻を確定  
します。



##### <切時刻：午後11時の場合>

⑤切時刻を設定します。  
【時】と【分】スイッチを  
タッチして合わせます。  
(例え：午後11時)

⑥タッチして切時刻を確定  
します。  
<参考>このとき「入」に  
点滅します。③順から同じ  
ようにして5回まで予約設  
定できます。

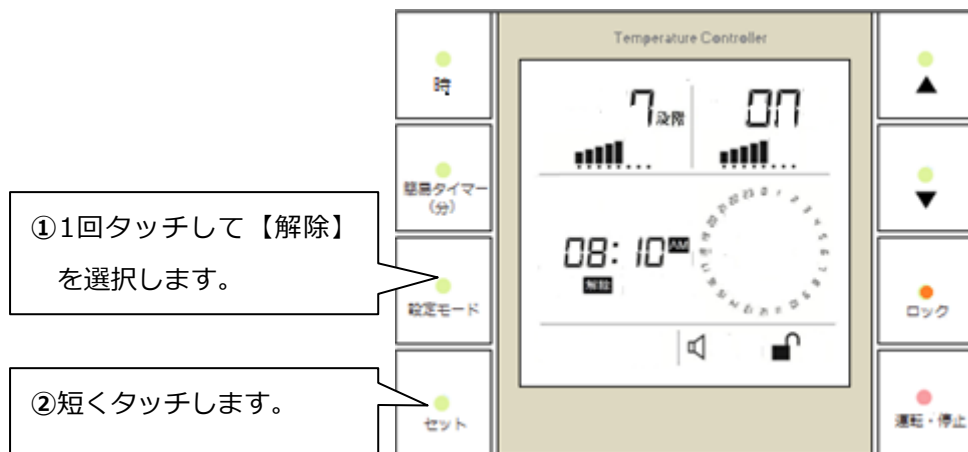


※注意：予約タイマー設定を途中で止めるときには「入」または「切」が点滅しているときに時刻を設定しなくて【セット】スイッチをタッチすると「--：--」表示が3回点滅してから予約タイマー設定が終わります。

## 5. 予約タイマー運転の解除と確認。

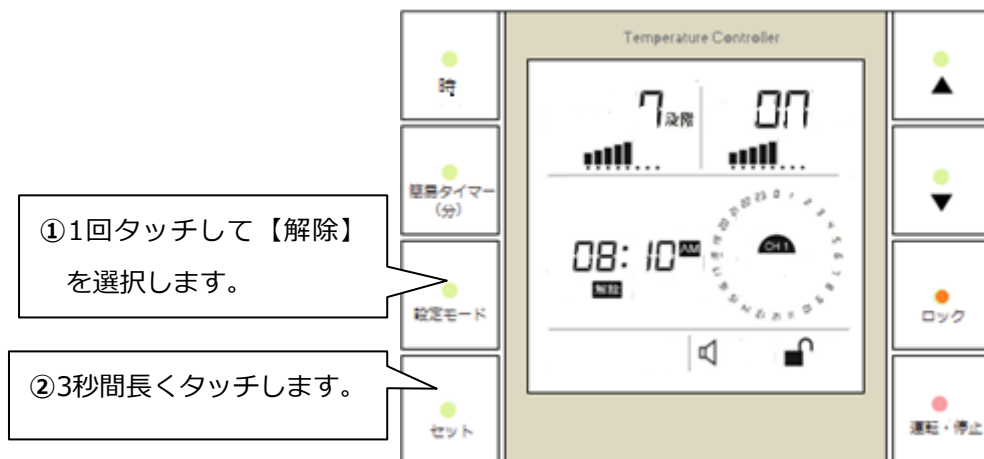
予約タイマー運転中に手動運転に変換するときには【解除】の設定モードに、タイマー時間を確認するときには【確認】の設定モードに合わせます。

### <一時解除の場合>



※一時解除すると◎グラフが無くなって手動運転に転換されます。このときは記憶された予約タイマーのデータが残っています。同じ手順にして予約タイマーを復帰させます。

### <全解除の場合>



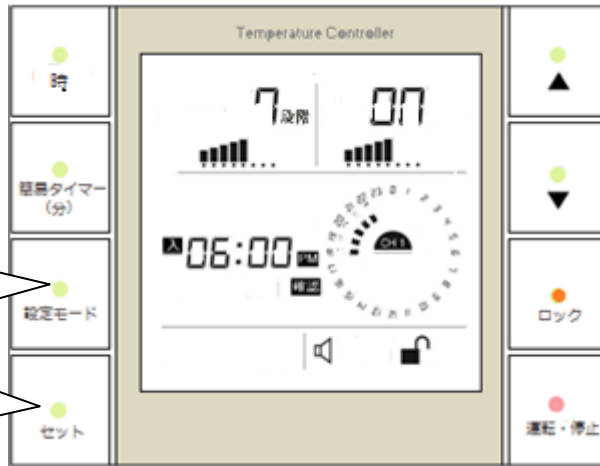
※全解除すると◎グラフのCH1の表示は残っています。このときは記憶された予約タイマーのデータが全部無くなりますので、十分にご注意ください。



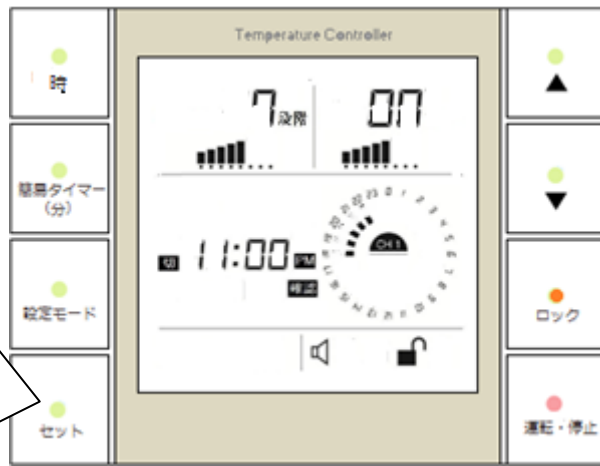
<予約タイマーの確認>

①3回タッチして【確認】  
を選択します。

②タッチします。入時刻が  
表示されます。



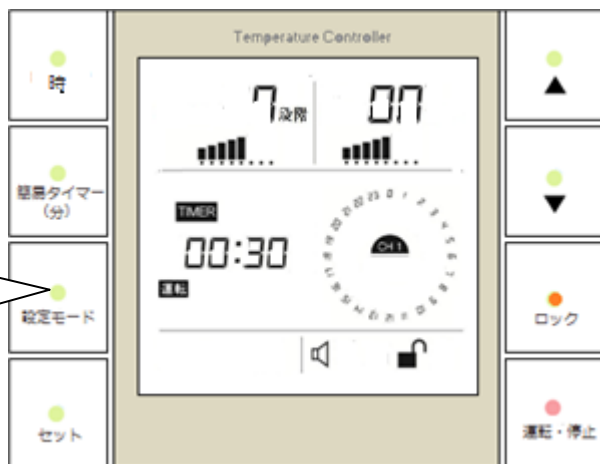
③タッチします。切時刻が  
表示されます。  
④タッチしながら確認が終  
わると「-- : --」が  
3回点滅しながら音を鳴  
らします。



## 6. 簡易タイマー運転

希望する運転時間を設定してその時間だけ運転させます。タッチするごとに30分単位にして8時間まで設定できます。(30分→1時間→1時間30分→…8時間→現在時刻の順)

①タッチして希望する時間  
を設定します。

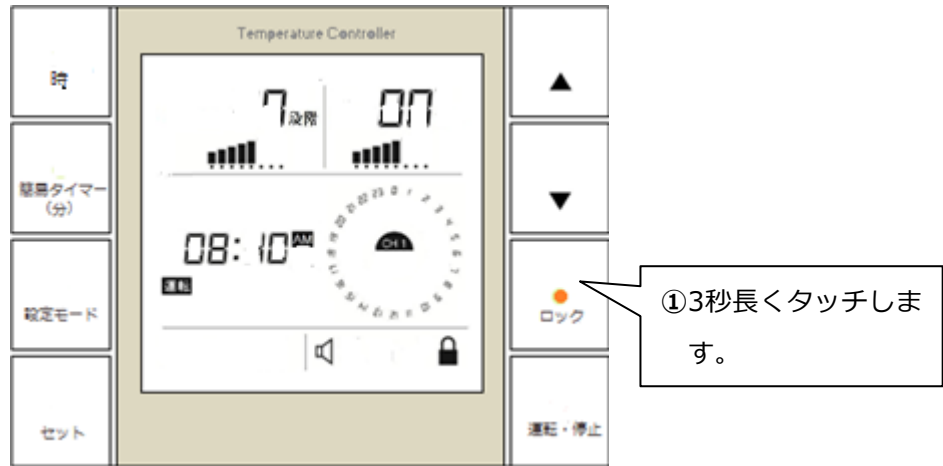


※簡易タイマー時間がOFFになる10秒前に音を鳴らして電源OFFを表します。

## 7. ロック機能

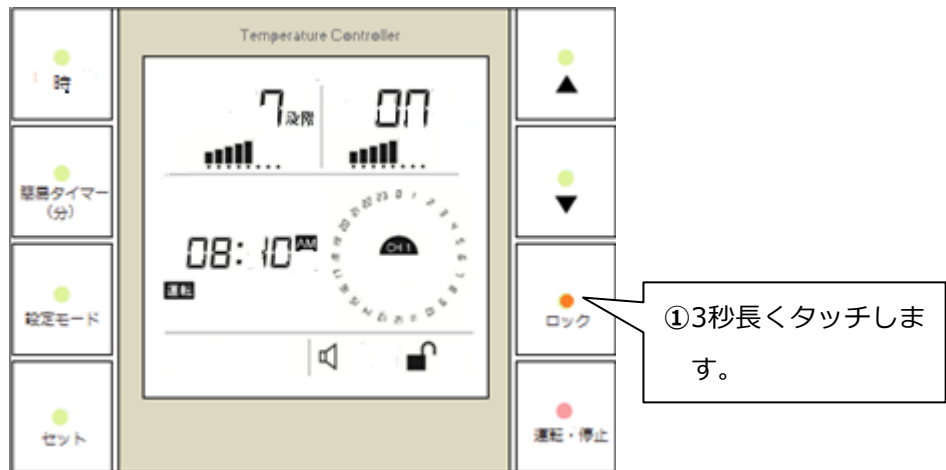
全てのスイッチをロックする機能です。ロックスイッチを3秒長くタッチすると音を鳴らしてロックされます。解除するときにも同じように3秒長くタッチすると音を鳴らして解除されます。

### <ロックの場合>



※ロックスイッチ以外のスイッチランプは消します。全てのスイッチがロックされます。

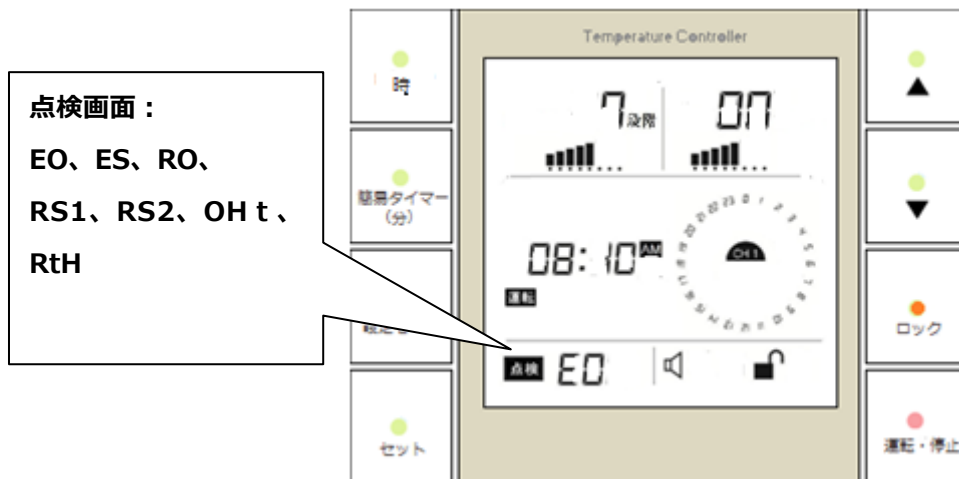
### <ロック解除の場合>



※ロック機能が解除されて全てのスイッチランプが点灯されます。

## 8. エラー一覧表

点検が必要な場合に点検画面にエラー表示とともにアラームを鳴らします。  
 迅速な対応をしなければなりません。

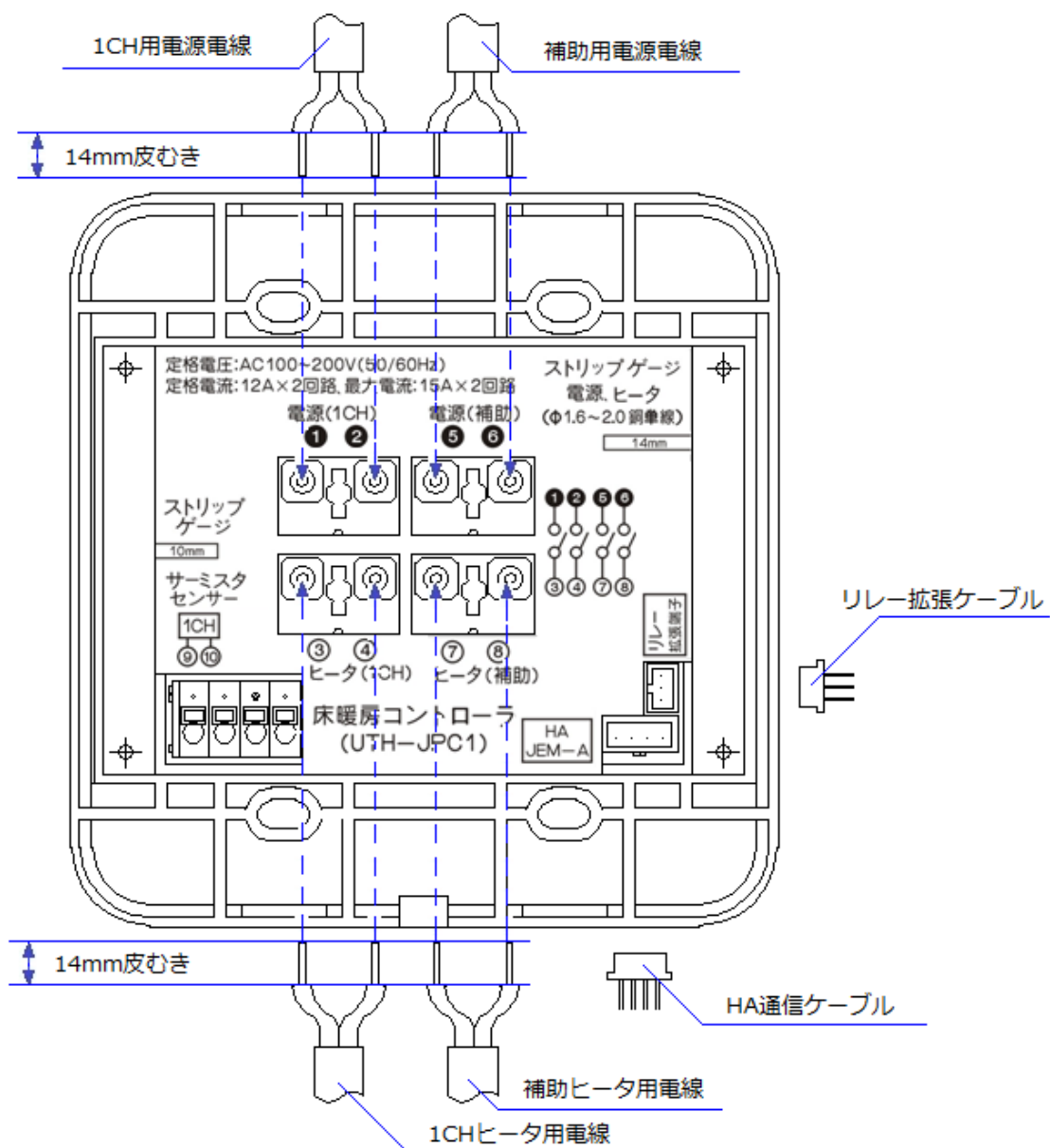


エラー表示	アラーム音	異常原因	対応
EO	ピピピ…(連続)	センサー断線	センサー交換
ES	ピピピ…(連続)	センサーショート	センサー交換
RO	ピピピ…(連続)	リレーオープン	製品交換
RS1	ピピピ…(連続)	CH1のリレーショート	製品交換
RS2	ピピピ…(連続)	補助出力のリレーショート	製品交換
OHT	ピピピ…(連続)	回路保護用のコントローラ 内部センサーの過熱感知 (80℃以上)	製品交換 (5~10分間電源OFFして から再起動して下さい。 施工場所の密閉状態を 確認下さい。)
RtH	ピピピ…(連続)	リレー加熱の時の 温度ヒューズ断線(115℃)	製品交換

## 9. 仕様 (SPECIFICATIONS)

区分	項目	ATH-SR 1 特性	
定格	定格入力電圧	100VAC~200VAC	
	周波数	50Hz・60Hz	
	駆動方式	電子式	
	消費電力	約2.76W (DC12V、230mA)	
	負荷	回路数	2回路 (1回路+補助回路)
		容量	CH1:12A (最大:15A)、補助:12A (最大15A) (抵抗性負荷)
出力電圧		100VAC~200VAC (入力電圧と同一)	
表示画面	ディスプレイ	8色カラーLCD	
精密度	時間精密度	週間最大偏差: ±1分 (0~30℃)	
	温度精密度	±1℃: 30秒当たり1℃変化条件 (delay option:20秒)	
	接点方式	リレー (OMRON:G5AC-1A-E)、両切り方式	
	接点定格容量	15A/125VAC、10A/250VAC(抵抗性負荷)/回路当たり	
	期待寿命(電氣的)	10万回以上、15A/125VAC、10A/250VAC/回路当たり	
センサー	種類	NTC (Negative Temperature Condfficient)	
	精密度	1%	
	25℃の定格抵抗	5,000ohm、Beta contantant=4、000	
	数量	CH1の温度感知用	
機能 (性能)	安全装置	センサーの断線、 ショート	断線の場合 (EO1) ショートの場合(ES1) :負荷の電源供給は自動に遮断。
		過熱防止センサー (コントローラ内部)	コントローラ内部の温度上昇を点検して設定した温度になると 電源は遮断されてアラームに鳴る。(手動復帰でOFF/ONします。)
		リレー開閉数の確認	長時間リレーON・OFFによる寿命を確認 (10万回)して交換可能。
		リレー加熱温度 ヒューズ	リレーから高温(115℃)が発生するとヒューズが切れて過熱保護。 【RtH】の表示とともにアラームします。
		リレーOPEN、 ショート	過電圧、過電流などによってリレーの接点がOPEN、またはショ ートされると【RO】 【RS】の表示とともにアラームします。
	タイ マー	予約回数	最大5回/1日 (1回: ON/OFFを1周期にする。)
		時間設定単位	1分
		簡易タイマー	30分単位にして8時間まで設定可能。
	ON・ OFF	温度差によって	現在のヒーターの温度と設定温度の比較によりON/OFFされます。
		時間周期によって	設定した時間周期によりON/OFFされます。(1~60分調整)
その他	外部ケース	ABS VH810 UL94 V-O (難燃性)	
	重さ	330 g	
	寸法	116(W)×120(H)×25(D:埋設部分)	
	大気温度・湿度 (使用条件)	-10℃~50℃、35℃のときに85%以下	

## 10. 結線図



## 11. 寸法

